

# 手作りユニークな「のぼり」



干物をモチーフにした「ひものぼり」を手にするミセスミシンの野田さん(左)と金井さん

## 県東部女性グループ

### 干物、ワサビ… 自宅で楽しく

干物やワサビなどをモチーフにしたユニークな「のぼり」が話題を集めている。作っているのは県東部の女性グループ「ミセスミシン」だ。

ミセスミシンの現在のメンバーは10人で、自宅のミシンでのぼりを作っている。もともとは、ホームペー

を依頼していた。注文や問い合わせが増えたため、同社の窪野岳社長(48)が昨年4月、専門に扱うミセスミシンの結成を呼びかけた。

これまで伊豆特産のワサビをモチーフにした「わさびのぼり」や、「深海魚シラカンスのぼり」などオリジナル製品を作ってきた。また、栃木県の水族館からの依頼で、アマゾンの巨大淡水魚の「ピラルクーのぼり」(2・5歳)を手掛けるなど、注文や問い合わせも増えてきた。

メンバーの一人、長泉町の金井淳子さん(41)は、

「普段は洋服や小物を作っているのですが、大きなのぼりを作るのは楽しい」と話す。

5日まで沼津市の狩野川河川敷で開かれている「沼津こいのぼりフェスティバル」では、干物をモチーフにした「ひものぼり」が目見えしている。製作にあたった同市の野田和代さん(38)は「本物の干物に見えるよう、平らに仕上げている。たくさんの人に見てもらえるとうれしい」と笑顔を見せる。

のぼりの問い合わせはオフィスグループ(0555・943・5290)へ。